

市内高齢者施設 御中

日頃から、お世話になっております。

東北地方太平洋沖地震に関する4首長緊急メッセージでの市長コメントについて、各施設での掲示をお願いいたしたくご連絡いたします。

添付の市長コメントをできるだけ大きく拡大し、施設の入口など市民の目に触れやすい場所に掲示をお願いいたします。

計画停電等の対応でお忙しいところ恐れ入りますが、ご協力の程、よろしくをお願いいたします。

〒230-0017 横浜市中区港町 1-1

横浜市役所

健康福祉局高齢健康福祉部

高齢施設課

市民の皆様へ

～東北地方太平洋沖地震に関する4首長緊急メッセージでの横浜市長コメント～

皆様、こんばんは。横浜市長の林文子です。今回の巨大地震に見舞われ、甚大な被害を受けられた皆様に、心からお見舞い申し上げますとともに、亡くなられた皆様に、心よりお悔やみ申し上げます。

地震発生の当初は、横浜市においても多くの帰宅困難な方々を、パシフィコ横浜や横浜アリーナ、地区センターなどの公共施設で受け入れ、毛布や食糧などを提供させていただきました。

計画停電など、生活に多くの影響を及ぼす状況も発生しており、原子力発電所に関する報道などを見るにつけ、不安な日々を送られている方もいらっしゃるかと思います。

横浜市としては、地震発生直後に災害対策本部を設置し、被害情報の収集・把握を行い、市のホームページや、市役所・区役所で、市民の皆様への情報提供を行っています。今後も引き続き、市民の皆様への安心・安全の確保に向け、力を尽くしてまいります。

被災地では今、電力需要が高まっています。電力の需給バランスを改善し、被災地の方々をお支えますとともに、市民の皆様には、可能な限りの節電をお願いいたします。ご家庭で、こまめに電灯を消したり、家電のスイッチを切るなど、お一人おひとりの小さな行為の積み重ねで、停電の回避につながります。

また燃料や食糧が確保しづらい状況が続いています。現在の状況は、買い物の集中や輸送の遅れなどによる要素が大きくなっています。より多くの皆様に必要なものが行き渡るよう、お互いを支え合う気持ちで、御協力をお願いいたします。

今回の巨大地震は、^{みぞう}未曾有の被害を私達にもたらしました。今回被災された地域については、横浜市としても出来る限りの物資の提供や職員の派遣など、御支援をしています。昨日は、応援派遣の職員達が、第一陣として仙台市に向けて、出発いたしました。

今後も引き続き、市民の皆様への安心・安全の確保に向けて、最大限の努力を行ってまいります。どのような災害に対しても、決して負けない強い決意を持って、力をあわせて立ち向かっていきましょう。市民の皆様への落ち着いた対応と、御理解・御協力を心からお願いいたします。

平成23年3月15日
横浜市災害対策本部長
横浜市長 林 文子